

# 台風（風・水害）に備える！

地震、雷、火事、オヤジといえばこわいものの代名詞。こわさでは勝るとも劣らないのに、台風の名がありません。これは二つの理由があります。ひとつはやつてくるシーズンが限られていること。もうひとつは、地震などと違つて襲つてくる時期が予測できることです。

その点で、このはかり知れない台風災害も、防災の知識と万全の備え、すなわち、わたしたちの工夫と努力である程度防ぐことができます。シーズンが近づく前に、万全の態勢を整えておくよう心がけておきましょう。

## ○ 河川近く、傾斜地、崖近く、山間部、造成地、水はけの悪い所、低地など自分の住んでいる環境のようすをよく知つておき、早く適切な行動をすること。

## ○ 過去のできごとをふだんからよく知つておいて、それなりに対応する。

## ○ 防災関係機関のお知らせや指示を正確に聞き、従う。

## 家周りの安全点検

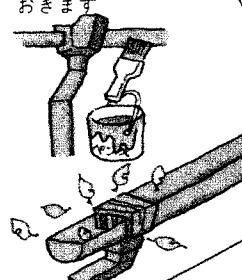
### ●屋根

かわらが飛ばされると軽くなつて、屋根全体が飛ばされるケースがあります。かわらのひび、割れ、ずれ、はずれなどを点検し、しつくいなどで修理しておきます。トタン屋根は強風でめくれることがあるので、釘で固定し、表面をヘンキで補修します



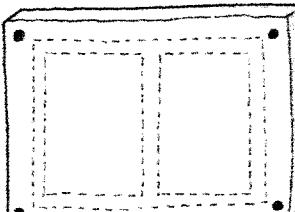
### ●雨どい

雨が正常に流れるように、落葉、土砂などのつまりを取り除きます。継ぎ目のはすれ、といの傾斜を正しく修正し、さび、塗装のはがれ、穴などを防水テープとヘンキで補修しておきます。



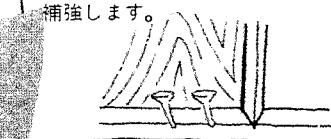
### ●窓ガラス

窓枠のがたつき、はすれなどを直します。ひびの入っているガラスは交換しておきます。強風に備えて外側から板でふさぐか、ガラス面にビニールテープをはっておきます。



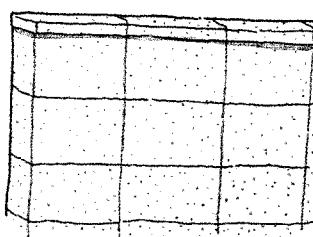
### ●雨戸

雨戸は外枠に釘で固定。柱とのすき間にテープをはっておくと、強風による雨の吹き込みが防げます。強い台風のときは、雨戸の上から筋かいで補強します。



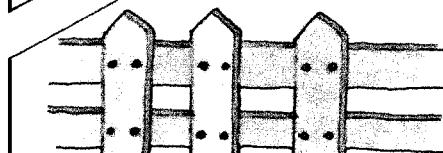
### ●ブロック塀

ひび割れたり、破損した箇所をモルタルやインスタントセメントで修理します。



### ●板塀

古くなった板塀は、羽目板の釘が浮いています。いたみの激しい羽目板を取りかえながら浮いた釘を打ち直しておきます。



### ●壁

モルタルの壁は亀裂にコーキング剤などを注入して補修します。10年に一度はモルタルの吹きつけをしておきましょう。

